

だっこだっこあみだっこ

ぼく・わたしを育てるほとけのことば
布施 (ふせ)
—にこにこ笑顔でいよう！

平成 28 年

9.10

月号



★京のイクメン特別企画★

しよてんぼうりん

本願寺ご門主 子育て初転法輪 (後篇)

こども仏事お作法教室

しょうこう

～お焼香のしかた～

東山浄苑東本願寺発！ママと子どものフリーペーパー **だっこだっこあみだっこ** です♪

あみださまは、おかあさんの「だっこ」のように、あたたかくわたしたちをみまもって下さっている—
そのことに気づいたとき、わたしたちは安心して、自信をもって生きていけます。

未来をになう子どもたちは社会の宝もの。その子どもを育てる**子育ては、とても尊い大事な
こと**です。いい子になってほしい、と思いながらも、**ほんとうのやさしさ、かしこ
さ、強さってなんだろう？** 悪いことをしたらどう叱ったらいいの？ —ほとけさまの教え
が、悩めるパパ、ママのともしびになりますように。 ぜひ、ご家族みなさんでお読みください♪

FREE Paper

ぼく・わたしを育てる ほとけのことば

今月のことば:「布施」(ふせ) 一にこにこえがおでいよう

仏教には、今のわたしたちにとっても、あたたかなとしびとなることばがたくさんあります。
「ほとけのことば」から、わたしたちの日々のくらしの目標をかんがえてみましょう♪

お布施(ふせ)ってなあに？

「布施」は、わたしたちが生きながら仏さまのさとりに近付くための修行(しゅぎょう)の一つです。「お布施」という言葉を聞くと、「お布施」とは、お坊さんにお渡しするお金やもののこと、と思っている人が多いでしょう。「布施」とは、それだけではなく、困っているひとに対して、見返りを求めずに、ほどこしを行うことを言います。

月のウサギの話

お布施について、こんなお話があります。

昔、サルとキツネとウサギが、山の中でやせほそり倒れている老人に出会いました。この老人を助けようと、サルは木の実をたくさん集めてきました。キツネは川で魚をとってきました。しかし、ウサギは何も食べ物を持ってこれませんでした。



ウサギは、サルとキツネに火をおこしてほしい、と頼むと、その火の中に自ら飛び込みました。何もあげるものがないウサギは、自分を食べてもらおうと思ったのです。それを見た老人は、「実は私は帝釈天(たいしゃくてん/仏教の守護神)だ」と告げて本当の姿になり、老人を助けるために自分の身までも投げ出したウサギの行いを、人々に伝えるため、ウサギを月に昇らせました。

今、わたしたちが月をみるとウサギの姿が見えるのは、このときのウサギなのです。



ウサギは、老人をただ助けたい一心で、自分の身をささげました。私たちは、人に何かをすると、「してあげた」と思い、お礼がなければ「なぜありがたいの一言もないんだ」と腹を立てます。助けられてばかりの人を見ると、「なぜあの人ばかり、ずるい」と思うこともあるでしょう。このように、私たちは、助けてもらった側だけがうれしいんだ、得だ、と考えてしまい、「してあげた」ことに対する「見返り」を求めてしまうものです。ウサギのように、「見返り」を全く求めず自分の身を投げ出すような行いは、誰にでもできるものではありません。

わたしたちにもできる「布施」ってなんだろう？

「お布施ってなんだか大変だな」

「まだこどものぼくには、お金もものも、あげられるものがない…」

「貧しいひとはお布施ができないから、仏さまのさとりに近づくことはできないのかな？」

と思う人もいるかもしれません。

しかし、お金やものを施すことだけが「布施」ではありません。お金がなくても、ものがなくても、命をなげだすことなどできない私たちにも、できるほどこしがあります。

それが、「無財(むざい)の七施(しちせ)」です。

「無財の七施」ってどういう意味？

無財の七施とは、なごやかな表情で接する「和顔施(わげんせ)」、やわらかな言葉で優しい話し方をする「愛語施(あいごせ)」、優しいまなざしを向ける「眼施(げんせ)」、体を動かして人の為に何かをする「身施(しんせ)」、ほかのひとを思いやる「心施(しんせ)」、自分の席を人に譲る「床座施(しょうざせ)」、寝泊まりするところがない人に宿を与える「房舎施(ぼうしゃせ)」の七つの行いです。お金やもの(財物)がなくてもできる「ほどこし」であることから、「無財の七施」といいます。



なごやかな表情で、やさしいきもちをもって言葉をかけ、自分にできることを行い、疲れた人がいたら席をゆずり、休むところのないひとに風雨をしのぐ場所を提供する——これらはすべて、真心(まごころ)をもって相手のきもちを考え、ひとに優しく接することですね。

ほどこしをするよろこび

ここで注意しなければならないのは、「和顔(わげん)」とはただにこにこすることではありません。落ち込んでいる人に向かってにこにこ寄っていくと、「なにがおかしいんだ!」と逆に怒らせてしまうこともあります。「和顔」とは、相手の気持ちになって、相手をなごませる表情のことです。



そして、もう一つ大事なことがあります。人に優しくすること、なごやかな表情で人と接すること。これは実は相手にとっていいことであるだけではありません。自分にとっても、いいことなのです。

電車で、お年寄りに席をゆずったとき。お年寄りから「ありがとう」と言われると。うれしい、照れくさい、ほこらしいような気持ちになります。また、逆に誰かがお年寄りに席をゆずっているのを見たとき、ほっと温かい気持ちになります。人から何かをしてもらったなら「ありがたいな、うれしいな」と思うように、人に何かをしてあげたときも喜びがわいてくるものなのです。また、そのやさしい行動を見たまわりの人にも、あたたかい気持ちを与えるものなのです。

「思い」を「行動」にあらわそう

「無財の七施」は、みなさんの心がけ次第で、だれにでもできるほどこしです。にこやかな表情で、やさしい言葉で話し、まごころで接して、困った人を助けることは、相手だけでなく自分もまわりもうれしい気持ちにします。

浄土真宗の大切なお経『無量寿経(むりょうじゅきょう)』に、「和顔愛語(わげんあいご)にして、意(こころ)を先(さき)にして承問(じょうもん)す。」とあります。「和顔愛語にして」の後の「意を先にして承問す」とは、人の気持ちを察して、言われるより先に行動する、ということです。「こころ」は目に見えないけれど「こころづかい」は見える、「思い」は目に見えないけれど「思いやり」は見える——と昔のCMにありましたが、『無量寿経』でも、「行動すること」の大切さが説かれています。



だれかを思い、だれかのために真心で何か行動すること。
みなさんも日々の暮らしの中で、身近な人のために、
早速行動してみませんか？
きっと、まわりも自分もうれしい気持ちになりますよ。



だっこだっこあみだっこは、毎月東山浄苑東本願寺で開催している「親子仏法の集い」の活動内容をもとに編集しています♪

親子仏法の集い-仏法に親もう 土に親もう!-つてなあに?



毎月第3日曜日(行事等で変更の場合あり)に、東山浄苑東本願寺の菜園で行っている親子向けの活動。なんでもありがたいいただいて、粗末にしない一古きよき日本人を育てた仏教の教えです。家族で野菜づくりや年中行事に親しみ、「いただきます」「ありがたい」の豊かなこころを育てましょう。乳幼児から中学生までのお子さんご家族はどなたでも参加できます。初参加歓迎!(初回参加は無料です♪)お気軽にお尋ねくださいね。



【活動日】毎月第3日曜日 【場所】東山浄苑東本願寺

【参加費】1家族1回 1,000円 **初回参加無料!**

※ベビールーム完備 ※屋内無料駐車場完備 ※参加ご家族30組限定

★お問合せ・参加のお申込みは★

東山浄苑東本願寺 総合受付

電話 **075-541-8391** 毎日9:00 ~17:00



一参加者募集中! 今後の親子仏法の集いご案内一

親子仏法の集い 特別企画
みずたにおさむ

「夜回り先生」水谷修先生 講演会 開催!

日時: 平成28年10月23日(日)13:00~ (12:30開場)

会場: 東山浄苑東本願寺 嘉枝堂本堂

対象: 中学生以下のお子様とその保護者の方 先着500名
(定員になり次第締め切ります)

参加費: 無料

【お申込み・お問合せ】お電話もしくは東山浄苑受付窓口まで(受付時間:9:00~17:00)

東山浄苑東本願寺 水谷修氏講演会係 電話 **075-541-8391**

入場無料

定員 **500名**



後援 京都府教育委員会 京都市教育委員会 京都新聞

撮影 足田千里

10月 活動 10月16日(日)

10:00~12:00

にんじんの収穫

勸衆偈(お経)をよんでみよう

11月 活動 11月20日(日)

10:00~12:00

ブロッコリーの収穫

勸衆偈(お経)をよんでみよう

○場所: 東山浄苑東本願寺内 菜園 ほか

○参加費: 1家族1000円 ※初回参加は無料

※事前にお電話でお申込みください。

※野菜の生育状況などによって、活動内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

※雨天の場合は、お念珠づくりなど室内企画を行います!お楽しみに♪

だっこだっこあみだっこ 平成28年9・10月号

平成28年9月20日発行 発行・印刷/東山浄苑東本願寺 〒607-8461 京都市山科区上花山旭山町8-1 電話 075-541-8391

無料